2021年度キックオフミーティング

2021/04/12
IT部

IT Professor

【2020年度下期実績】

1. 施策の実績
   1. プライベートクラウドの導入・稼働

   2. 結果：問題なし。

   3. 成功要因（Success Factor）
      1. 仮想化技術の成熟
      2. 仮想化技術の理解を深めたIT担当の存在
      3. 本取り組みに理解をしめしてくれた経営陣
      4. 優秀なITベンダーの存在

プライベートクラウドの導入・稼働

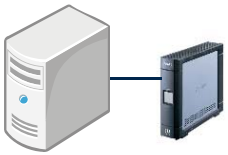
AS IS（バックアップイメージ）

システム A

Cドライブ:　Win Server 2003
Dドライブ：データ
E:ドライブ：データバックアップ

システム B

Cドライブ:　Win Server 2003
Dドライブ：データ
E:ドライブ：データバックアップ



システム C

Cドライブ:　Win Server 2003
Dドライブ：データ
E:ドライブ：データバックアップ

・
・
・

TO BE　（Private Cloud）

課題：　10年以上稼働しているサーバーが多数存在する
→　ハード障害が発生する可能性が高い

目的：　劣化・陳腐化によるハード障害の回避

1- 施策1　プライベートクラウドの導入

Project Sponsor：IT部長
PM（コーディネータ）：A氏

1-Background　（背景）

- ハードウェア・ソフトウエア的にサポート切れのシステムが多数存在している

3-Objectives　（目的）

- ハードウェア・ソフトウエアの障害回避
- ITコストの最適化（個別最適化より15%削減）
- ITインフラの最適化

2-The Problem to be solved（解決すべき課題）

- ハードウェア・ソフトウエア的にサポート切れのシステムが多数存在していて、障害が発生した場合、修理・修復不可になり、ビジネスに支障を来す可能性がある

4-Target Deliverables　（成果）

-定量的：20台の旧式サーバーを２台に集約した
-ITコスト：個別最適化より20%削減した
-定性的：ITガバナンスの強化した

5-Schedule (スケジュール)

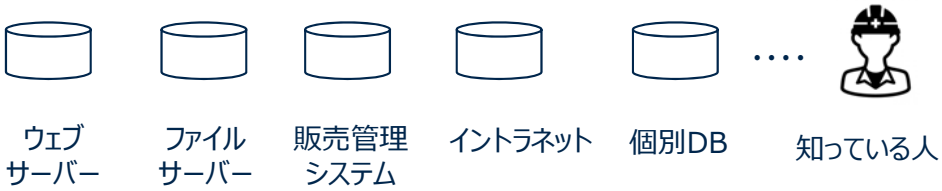
- 主な対応期間：　2020年11月～2021年3月末

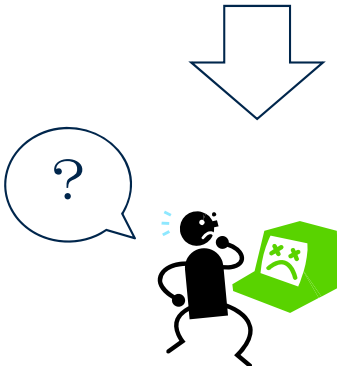
【 2021年度上期予定】

1. 予定施策
    1. ナレッジデータベース構築

ナレッジデータベースの構築・導入・運用

AS IS（現状）



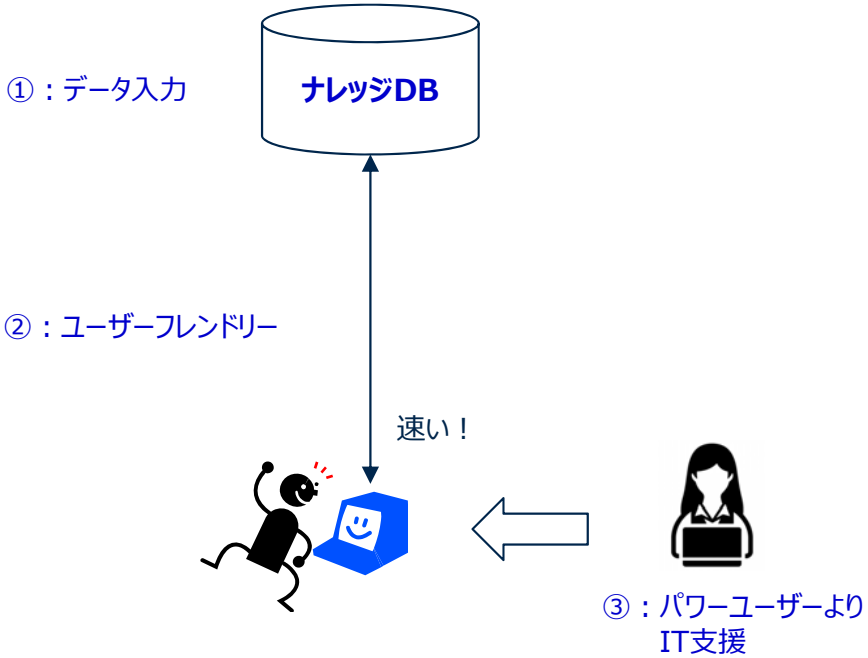


★必要な情報

・見つけるに時間が掛かる！

・探しきれない！

TO BE　（あるべき姿）



ナレッジ情報検索・表示機能

1- 予定施策　ナレッジDB

Project Sponsor：IT部長
PM（コーディネータ）：A氏

1-Background　（背景）

- 会社のナレッジ情報が複数の個別システムに分散管理されており、拡散している

3-Objectives　（目的）

- ビジネスプロセス最適化の一環として、会社の膨大な情報資産を整理して、DB化して、一元管理することによりビジネスに貢献する

2-The Problem to be solved（解決すべき課題）

- 子会社の情報資産を統合するためのルール設定

4-Target Deliverables　（成果）

- ナレッジ情報の一元管理
- 一元管理化によりITコストの削減
- ナレッジ情報へのアクセス時間短縮による生産性向上

5-Schedule (スケジュール)

主な対応期間：2021年8月～2022年3月